

「公開授業週間」が始まりました。

6月13日から1週間、公開授業週間が始まりました。教員間で互いに学び合い、授業の質を向上させることを目的として実施しています。

互いの授業を見合って意見交換したり、生徒の主体的な学びや対話的な学びを実現するための「アクティブラーニング」にも取り組んだりしています。

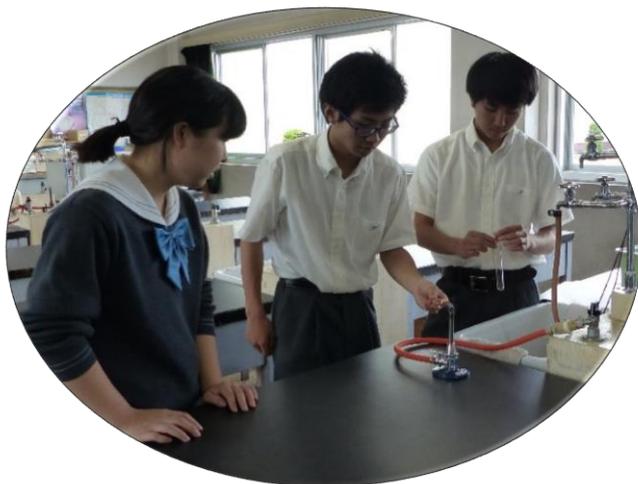
生徒の力を伸ばすためのよりよい授業づくりを目指して、先生たちも頑張っています。



「コミュニケーション英語 I」のペアワークの様子です。



「化学」の授業。協働で問題解決に取り組んでいます。



「化学」の授業。アルコールからアルデヒドを合成して、アルデヒドの特性である還元性を確認する実験を行いました。



1年生の「簿記」の授業。少人数の良さを生かし、先生との対話を通して学んでいます。



「生活支援技術」の授業。介護者として大切な「話の聴き方」について学びました。

2人ペアになって、「否定的傾聴」と「肯定的傾聴」を実際に体験することで、聴き手の態度が話し手の話す内容や気持ちに変化を与えていることを実感しました。

写真は「否定的傾聴」を体験しているところです。



「福祉住環境」の授業。妊婦さんがいすに腰掛けた状態で靴下をはくための補助具「ソックスエイド」を作っています。実際に作成し、使用してみることでさらに工夫するとよい点などについて考察しました。



「情報数学A」の授業。2進数を使った「数当てゲーム」などを通して、2進数とCDとの関係について学びました。



「小論文」の授業。新聞記事を読み、各自の感想をまとめました。その後、グループで意見交換をし、他者の意見や考え方も踏まえたうえでの自分の意見や提案を再度まとめました。



「保健」の授業。グループワークで「生活習慣病」について考えました。